



新たな街づくりへ

住環境整備方針策定事業

調査報告書まとめまる

住みやすい環境って何でしょう。災害の危険が少ない、交通の便が良い、街並みが美しい、温かく明るい雰囲気込まれている……。そんな街づくりを進めていくために、市は「住環境整備方針策定調査報告書」をまとめました。それぞれの地区ごとに問題点をチェックした、いわば「街づくりカルテ」。大好きな私たちの地区、そして大館市を、さらに魅力あふれるものにしていくための、さまざまな「治療」に活用していきます。

市内全域を対象に

「総合診断」

街づくりを進めるための事業には、さまざまなものがあります。環境や衛生面の向上を図る水道事業や公共下水道事業。道路や駐車場などの施設を整備して土地の利用価値を高める土地区画整理事業や市街地再開発事業。そして、住宅の過密状態の解消や狭い道路の改修などを地区レベルで進める「ミニ区画整理」ともいえる住環境整備事業などです。

このうち、住環境整備事業に

は▽住宅地区改良事業▽コミュニティ住環境整備事業▽街なみ整備促進事業▽地区住環境総合整備事業▽居住環境整備事業の五つがあります。

今回の調査は、地区の実情に合わせて個性を生かした街づくりを進めていくために、どういった事業が最も効果的でふさわしいのかを考え、当てはめていく目的で、平成三年度に建設省の補助事業により初めて行ったものです。調査に当たって「土木」「都市開発」「下水道」の三課でプロジェクトチームを設置しました。

調査対象は市全域。まず旧町

村界を基本に十地域を設定、さらに字界（まちの区画）や小学校区割、町内会区割など、地区のつながりを考えて細かく分けました。

地域カルテで

重点区域を設定

調査項目は、世界保健機構(WHO)が示した①安全性②保健性③利便性④快適性をベースに、住宅の立地状況、道路や側溝の整備状況、街並みや景観など市の特徴に合わせて設定。各課で手掛けている事業の進み具合や把握している問題点について情報を交換しながら現地調査を行いました。そして、それぞれの地域が抱えている街づくりについての問題点を拾い出した「地域カルテ」をつくりました。

この中で、特に課題が集中し、早急な整備・改良が求められる住環境重点整備区域として▽御成町三丁目・五丁目区域▽川原町・栄町、田町区域▽旭ヶ丘、谷地町、南町、田代町一・二区

〈住環境整備事業の構想〉

短期 (平成4年度～8年度)		中期 (平成9年度～13年度)		長期 (平成14年度以降)	
区域名	事業名	区域名	事業名	区域名	事業名
御成町三丁目～五丁目	コミュニティ住環境整備事業	川原町、栄町、田町	コミュニティ住環境整備事業	末広町、弁天町、新富町、寺町、大正町、豊町	街なみ整備促進事業・地区住環境総合整備事業
旭ヶ丘、谷地町、一心町、南町、田代町1・2区	地区住環境総合整備事業・コミュニティ住環境整備事業	相染町	コミュニティ住環境整備事業		
		東台1・2・4区	コミュニティ住環境整備事業・街なみ整備促進事業・地区住環境総合整備事業		